



OJI HOLDINGS



マレーシアで建設中の紙おむつ新工場



王子グリーンエナジー江別（試運転中のバイオマスボイラ）



王子ホールディングス株式会社

決算・経営説明会資料

2015年11月20日（金）

領域をこえ 未来へ

OJI

I. 2015年度第2四半期決算概要	2	IV. 事業別経営戦略	23
1. 2015年度2Q累計 連結業績概要	3	1. 産業資材事業①	24
2. 連結営業利益増減益内訳 (2014年度2Q累計対2015年度2Q累計)	4	産業資材事業②	25
3. セグメント別売上高・営業利益 (2015年度2Q累計実績)	5	2. 生活消費財事業①	26
4. セグメント別利益増減分析 ①生活産業資材	6	生活消費財事業②	27
セグメント別利益増減分析 ②機能材	7	3. 機能材事業①	28
セグメント別利益増減分析 ③資源環境ビジネス	8	機能材事業②	29
セグメント別利益増減分析 ④印刷情報メディア	9	機能材事業③	30
II. 2015年度業績予想	10	4. 資源環境ビジネス①	31
1. 2015年度連結業績予想	11	資源環境ビジネス②	32
2. 連結営業利益増減益内訳 (2014年度対2015年度予想)	12	資源環境ビジネス③	33
3. セグメント別売上高・営業利益 (2015年度予想)	13	資源環境ビジネス④	34
4. セグメント別利益増減分析 ①	14	5. 江蘇王子製紙南通工場(中国)	35
セグメント別利益増減分析 ②	15	6. 研究開発	36
III. 経営理念・グループ経営目標	16	7. 環境経営	37
1. 経営理念	17	《参考資料》	38
2. グループ経営戦略①	18	連結営業利益推移	39
グループ経営戦略②	19	自己資本利益率(ROE)推移	40
3. 経営数値目標	20	連結有利子負債残高推移	41
4. セグメント別売上高・営業利益目標	21	連結設備投融資・減価償却費推移	42
5. 財務戦略	22	連結就業人員推移	43
		2015年度2Q累計 業界需要動向	44



I .2015年度第2四半期決算概要

1.2015年度2Q累計 連結業績概要

(単位:億円)

	2014年度2Q累計	2015年度2Q累計	増減
売上高	6,373	7,192	819
営業利益	192	285	93
経常利益	164	338	174
親会社株主に帰属する 四半期純利益	66	173	107
減価償却費	338	395	57
為替レート(円/USD) (期中平均)	103.0	121.8	18.8
海外売上高比率	20.2%	29.4%	9.2%
海外所在会社営業利益	68	126	58
連結子会社			
国内	85社	87社	+ 2社
海外	72社	88社	+ 16社
合計	157社	175社	+ 18社

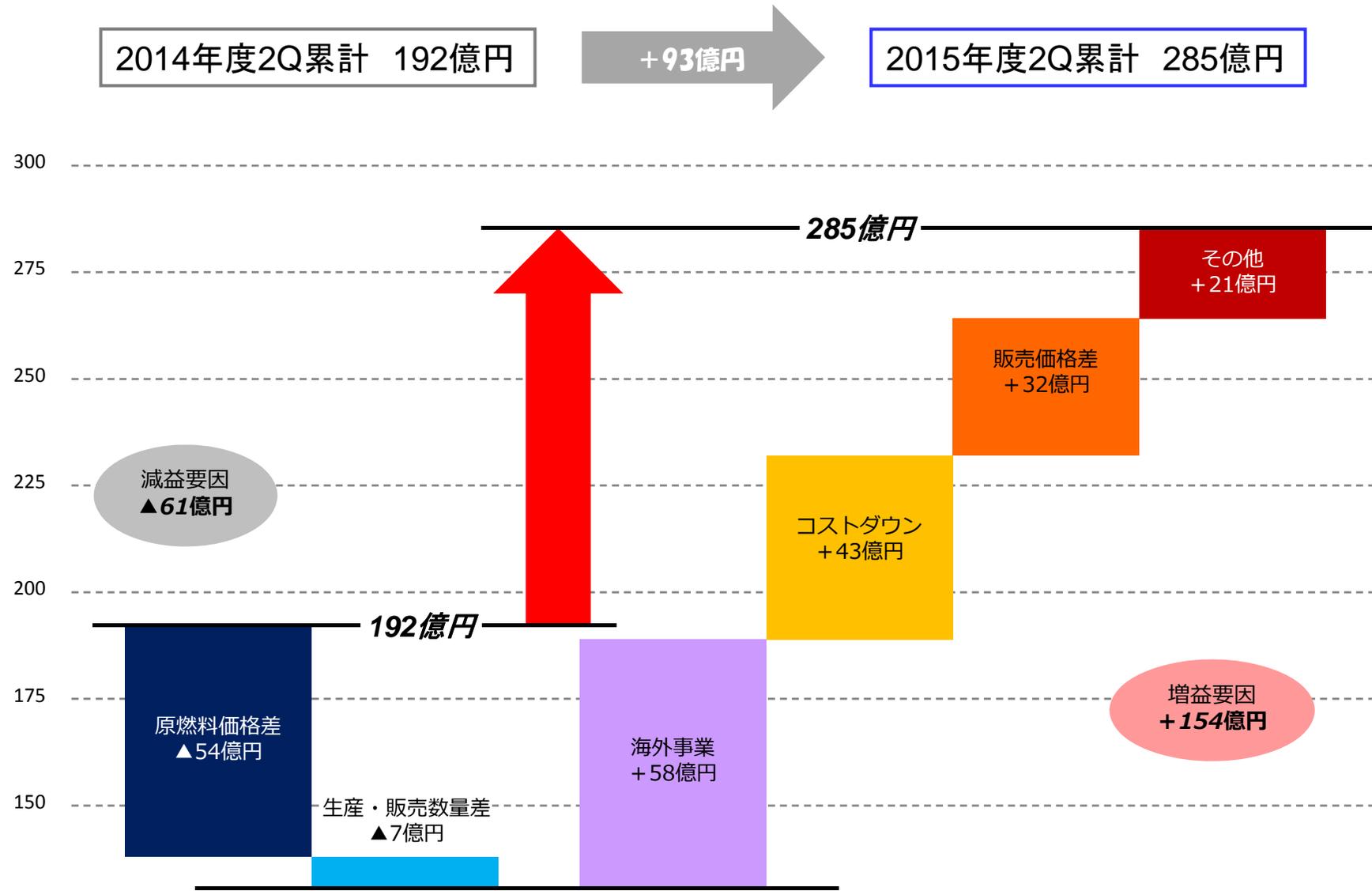
Oji Fibre Solutions^(※)関連+10社[事業買収、持株会社設立]、東南アジア関連+8社[紙おむつ、段ボール他]、▲2社[清算]
国内 +2社[持株会社設立、調達関連設立]

他に持分法適用関連会社 +4社(国内 3社、海外1社)

※10/31付でCHPPより社名変更



2. 連結営業利益増減益内訳 (2014年度2Q累計 対 2015年度2Q累計)



3. セグメント別売上高・営業利益 (2015年度2Q累計実績)

(単位: 億円)

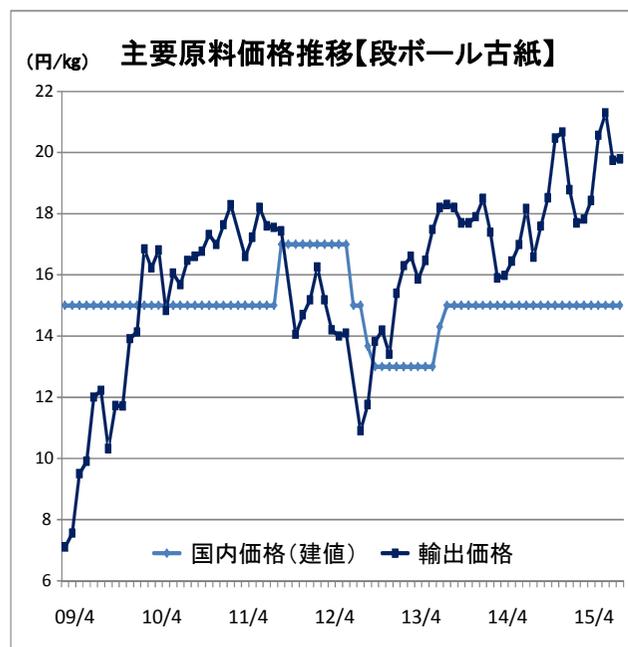
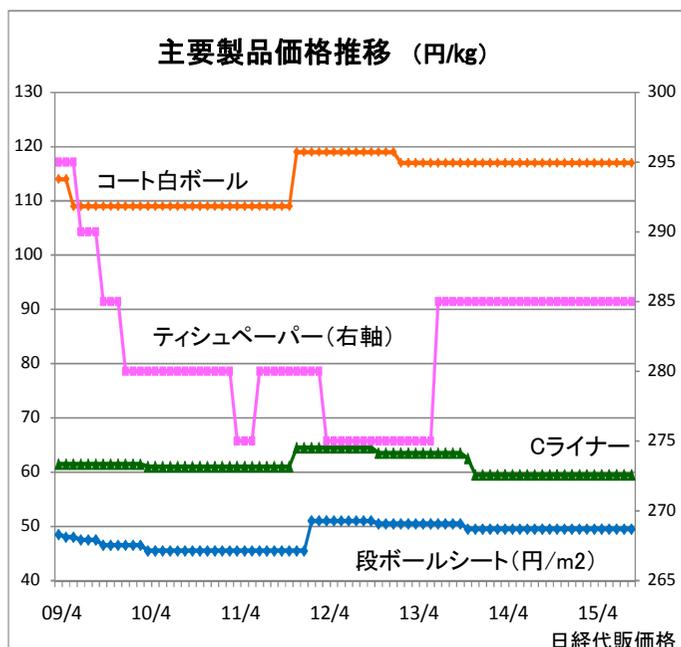
	2014年度2Q累計		2015年度2Q累計		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
生活産業資材	2,672	49	3,009	71	337	22
機能材	1,089	47	1,090	58	1	11
資源環境ビジネス	942	63	1,358	125	416	62
印刷情報メディア	1,515	▲8	1,535	▲12	20	▲4
その他	1,317	40	1,336	35	19	▲5
調整額	▲1,162	1	▲1,136	8	26	7
連結合計	6,373	192	7,192	285	819	93

(注) 売上高にはセグメント間売上を含む。

4.セグメント別利益増減分析 ①生活産業資材

セグメント業績 (売上高, 営業利益)	2014年度2Q累計		➔	2015年度2Q累計	
	2,672億円	49億円		3,009億円	71億円

主要製品売上高実績 (グループ内消費を含む)	2014年度2Q累計			2015年度2Q累計			増減			
	販売数量	販売単価	販売金額	販売数量	販売単価	販売金額	販売数量	対前年比	販売単価	販売金額
	千t・百万m2	円/kg・m2	億円	千t・百万m2	円/kg・m2	億円	千t・百万m2	%	円/kg・m2	億円
紙 家庭紙 国内事業	83	228.70	189	91	228.81	208	8	110.3%	0.11	19
包装用紙 国内事業	138	104.05	143	125	110.39	138	▲12	91.1%	6.34	▲5
板紙 国内事業	1,464	65.30	956	1,432	64.96	931	▲31	97.9%	▲0.34	▲25
段ボール シート・ケース(百万m2)	1,709	62.65	1,071	1,904	65.01	1,238	195	111.4%	2.36	167



増減益要因 (+22億円)

- 販売・市況要因 +18億円
- 原燃料価格差 ▲24億円
- コストダウン +17億円
- 海外事業 +24億円
- ほか ▲13億円

国内 段ボール、家庭紙、紙おむつの販売数量増

海外 NZ拠点の子会社化が寄与

4.セグメント別利益増減分析 ②機能材



セグメント業績 (売上高, 営業利益)	2014年度2Q累計		➔	2015年度2Q累計	
	1,089億円	47億円		1,090億円	58億円

主要製品売上高実績 (グループ内消費を含む)	2014年度2Q累計			2015年度2Q累計			増減			
	販売数量	販売単価	販売金額	販売数量	販売単価	販売金額	販売数量	対前年比	販売単価	販売金額
	千t・百万m2	円/kg・m2	億円	千t・百万m2	円/kg・m2	億円	千t・百万m2	%	円/kg・m2	億円
感熱紙(百万m2) 国内・海外計	1,680	21.19	356	1,610	20.82	335	▲70	95.8%	▲0.38	▲21
特殊紙 国内事業	86	249.33	215	86	252.24	216	▲1	99.1%	2.91	0

増減益要因 (+11億円)

➔ 販売・市況要因	▲6億円	➔ 原燃料価格差	▲1億円
➔ コストダウン	+14億円	➔ 海外事業	+4億円

国内

感熱紙の国内販売は堅調に推移
一部事業から撤退した影響で特殊紙が若干の減少

海外

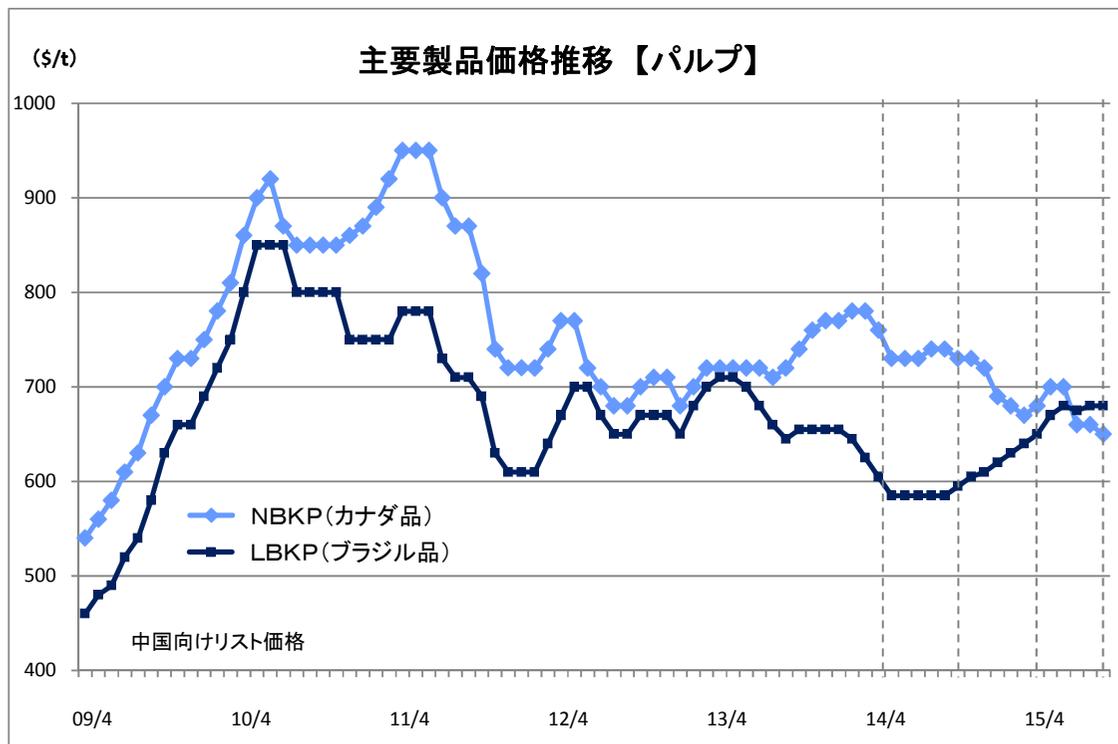
感熱紙販売は欧州・南米で拡大した一方、北米で減少

4.セグメント別利益増減分析 ③資源環境ビジネス



セグメント業績 (売上高, 営業利益)	2014年度2Q累計		➔	2015年度2Q累計	
	942億円	63億円		1,358億円	125億円

主要製品売上高実績 (グループ内消費を含む)	2014年度2Q累計			2015年度2Q累計			増減			
	販売数量	販売単価	販売金額	販売数量	販売単価	販売金額	販売数量	対前年比	販売単価	販売金額
	千t・GWh	円/kg・円/kWh	億円	千t・GWh	円/kg・円/kWh	億円	千t・GWh	%	円/kg・円/kWh	億円
販売パルプ 国内・海外計	761	64.20	488	1,092	67.62	738	331	143.5%	3.42	250
(うち溶解パルプ) 国内事業	20	80.89	16	34	100.00	34	15	173.7%	19.11	18
販売電力 国内事業	169	15.33	26	410	19.24	79	242	243.5%	3.91	53



増減益要因 (+62億円)

- ➔ 国内事業 +30億円
- ➔ 海外事業 +32億円

国内 水力発電リフレッシュ工事およびバイオマス発電により売電増、溶解パルプの輸出販売が好調

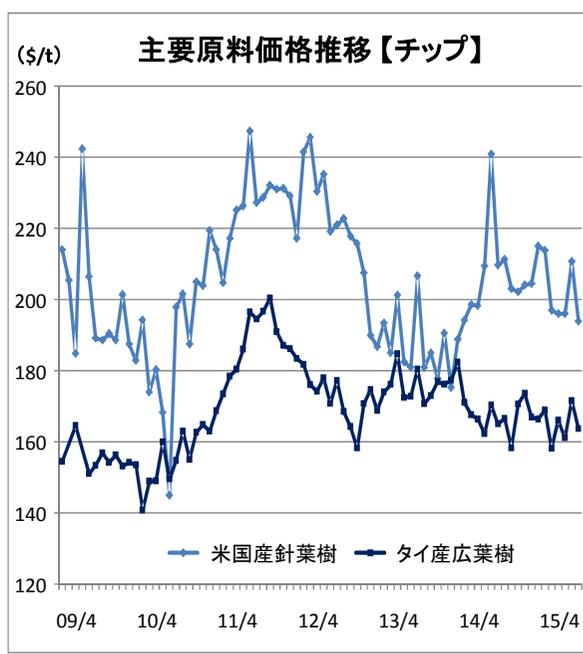
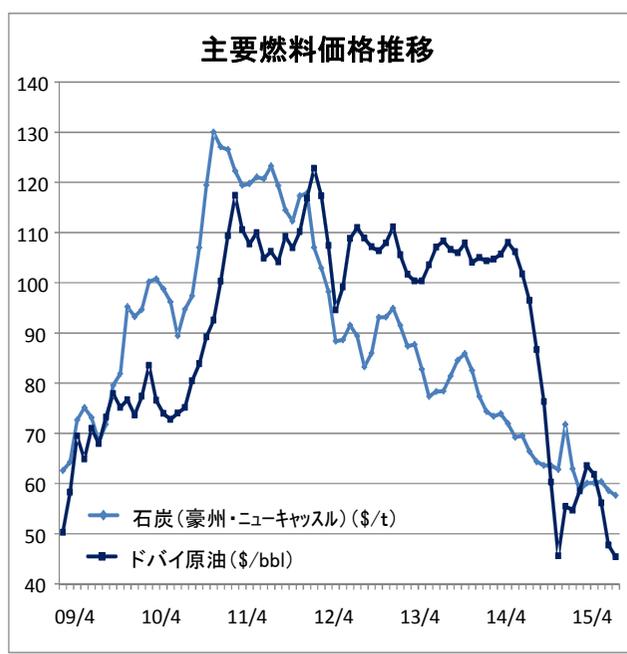
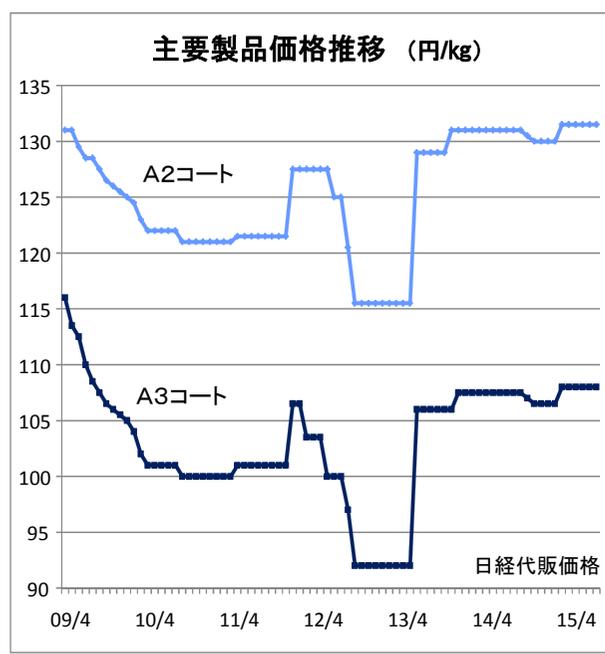
海外 中国KP稼働、NZ拠点の連結によりパルプ販売量が増加

4.セグメント別利益増減分析 ④印刷情報メディア



セグメント業績 (売上高, 営業利益)	2014年度2Q累計		➡	2015年度2Q累計	
	1,515億円	▲8億円		1,535億円	▲12億円

主要製品売上高実績 (グループ内消費を含む)	2014年度2Q累計			2015年度2Q累計			増減			
	販売数量	販売単価	販売金額	販売数量	販売単価	販売金額	販売数量	対前年比	販売単価	販売金額
	千t	円/kg	億円	千t	円/kg	億円	千t	%	円/kg	億円
新聞・印刷情報用紙 国内事業	1,225	109.07	1,337	1,207	110.60	1,335	▲18	98.5%	1.53	▲2



増減益要因 (▲4億円) 国内は需要低迷により販売量は減少するも、売上高は価格修正により前年並み

➡ 販売・市況要因 + **16億円** ➡ 原燃料価格差 **▲29億円** ➡ コストダウン他 + **9億円**



Ⅱ.2015年度業績予想

1.2015年度連結業績予想

	2014年度	2015年度予想	(単位:億円) 増減
売上高	13,473	15,300	1,827
営業利益	467	700	233
経常利益	530	650	120
親会社株主に帰属する 当期純利益	173	340	167
減価償却費	708	791	83
為替レート(円/USD) (期中平均)	110.0	120.9	10.9
海外売上高比率	22.8%	28.9%	6.1%
海外所在会社営業利益	149	290	141

2015年度予想前提条件

・原燃料価格

チップ: 現行契約ベース

古紙: 現行価格レベル横ばい

石炭: 現行契約ベース

・変動影響(年間)

為替レート: 円 : 対US\$1%変動につき±約6.0億円(US\$高一)

ブラジルリアル : 対US\$1%変動につき±約2.0億円(US\$高+)

ニュージーランドドル : 対US\$1%変動につき±約6.1億円(US\$高+)

古紙価格: 1円/kg変動につき±約40億円

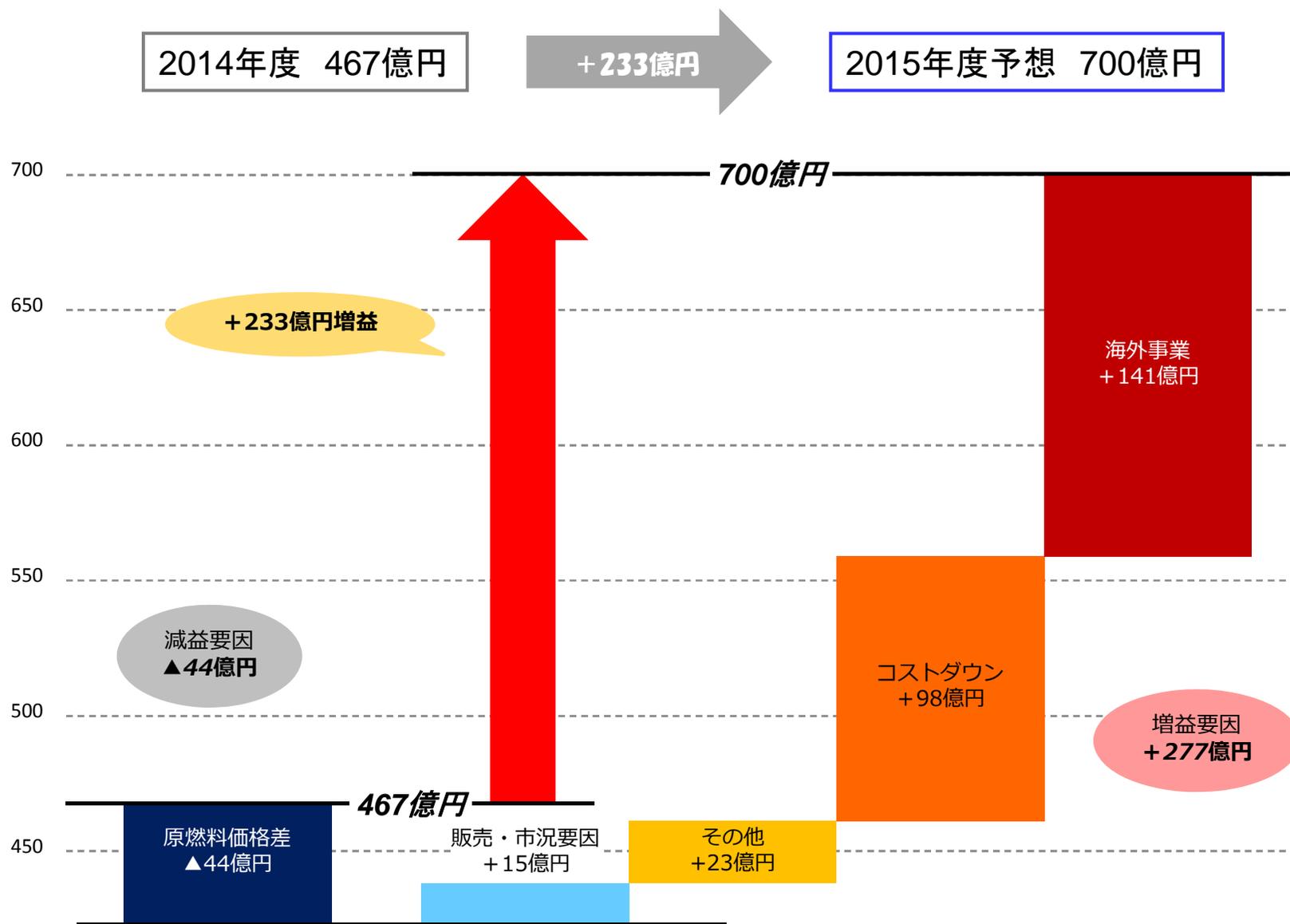
ドバイ原油価格: 1US\$/bbl変動につき±約3.2億円

(重油、バンカーオイル、ナフサ関連製品 他)

パルプ価格: 10US\$/t 変動につき±約23億円(パルプ高+)

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 連結営業利益増減益内訳 (2014年度 対 2015年度予想)



3.セグメント別売上高・営業利益 (2015年度予想)

(単位: 億円)

	2014年度		2015年度予想		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
生活産業資材	5,618	145	6,320	194	702	49
機能材	2,252	94	2,417	128	165	34
資源環境ビジネス	2,115	149	3,237	289	1,122	140
印刷情報メディア	3,110	▲7	3,068	19	▲42	26
その他	2,761	80	2,678	70	▲83	▲10
調整額	▲2,383	6	▲2,420	0	▲37	▲6
連結合計	13,473	467	15,300	700	1,827	233

(注) 売上高にはセグメント間売上を含む。

4.セグメント別利益増減分析①

生活産業資材事業

セグメント業績 (売上高, 営業利益)	2014年度		➔	2015年度予想	
	5,618億円	145億円		6,320億円	194億円

2015年度営業利益増減額 (+49億円)	➔ 国内事業	+23億円	➔ 海外事業	+26億円
----------------------------------	--------	-------	--------	-------

機能材事業

セグメント業績 (売上高, 営業利益)	2014年度		➔	2015年度予想	
	2,252億円	94億円		2,417億円	128億円

2015年度営業利益増減額 (+34億円)	➔ 国内事業	+24億円	➔ 海外事業	+10億円
----------------------------------	--------	-------	--------	-------

4.セグメント別利益増減分析②



資源環境ビジネス

セグメント業績 (売上高, 営業利益)	2014年度		➔	2015年度予想	
	2,115億円	149億円		3,237億円	289億円

2015年度営業利益増減額 (+140億円)	➔ 国内事業	+48億円	➔ 海外事業	+92億円
----------------------------------	--------	-------	--------	-------

印刷情報メディア事業

セグメント業績 (売上高, 営業利益)	2014年度		➔	2015年度予想	
	3,110億円	▲7億円		3,068億円	19億円

2015年度営業利益増減額 (+26億円)	➔ 国内事業	+16億円	➔ 海外事業	+10億円
---------------------------------	--------	-------	--------	-------



Ⅲ.経営理念・グループ経営目標



～領域をこえ、未来へ～

革新的価値の創造

未来と世界への貢献

環境・社会との共生

「もはや製紙企業ではない」





【グループ基本方針】

(1) 海外事業の拡大

- ▶ 既進出拠点を中心とした周辺地域への事業拡大
- ▶ 既進出拠点の事業基盤強化

ターゲット国 東南アジア、オセアニア他

ターゲット事業 パッケージング、生活消費財
機能材、資源環境ビジネス

(2) 国内事業の集中・進化

- ▶ 既存設備、ノウハウを活用した新規ビジネス展開の加速
- ▶ 研究開発による新素材、新製品開発と早期事業化
- ▶ グループ総合力を活用した付加価値創出型ビジネスの展開
- ▶ 既存事業の選択と有望事業への経営資源の集中

経営資源の
効率的活用

経営資源の
効率的活用

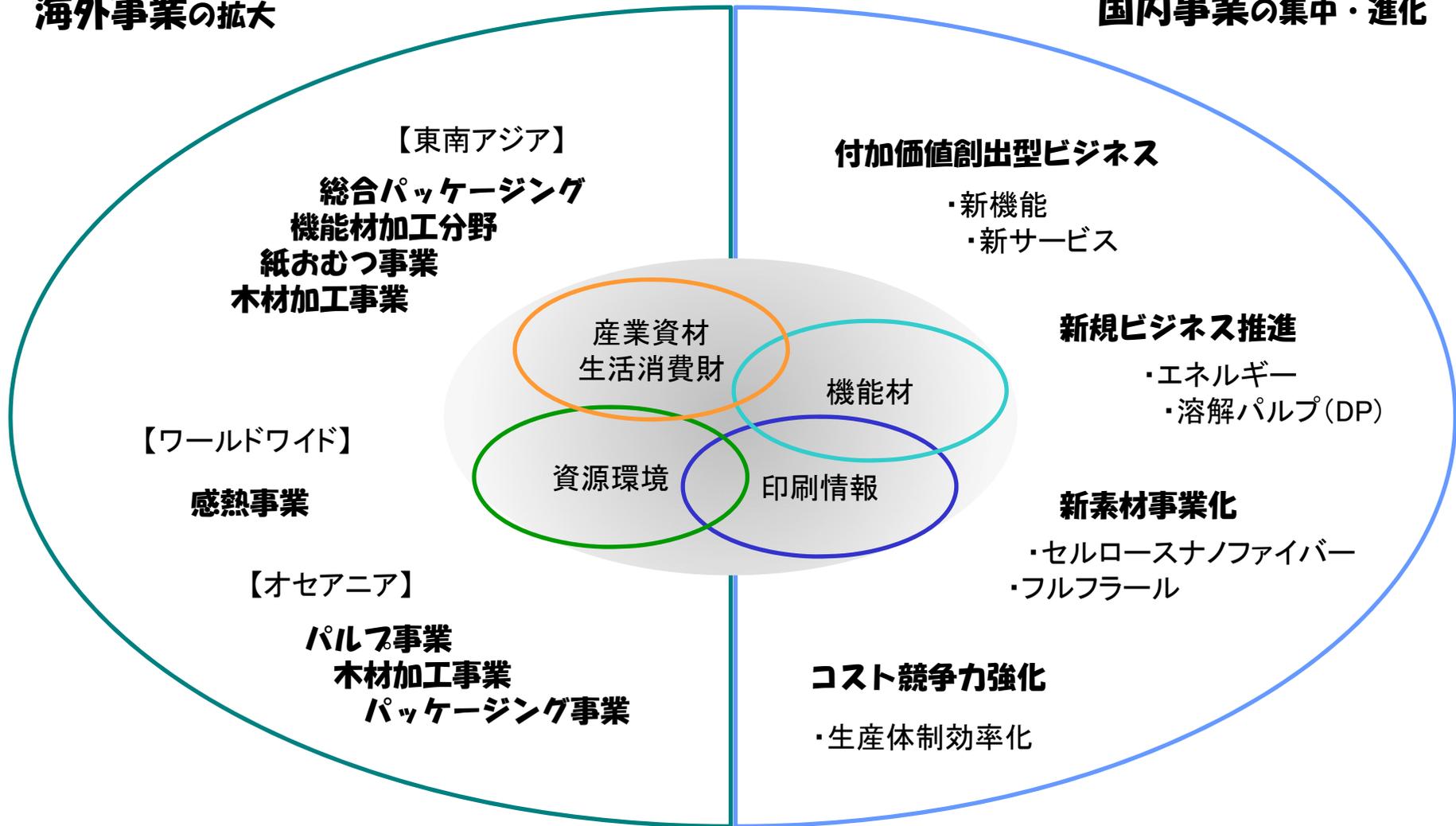
(3) 財務基盤の強化

- ▶ 不動産などの遊休資産売却を推進



海外事業の拡大

国内事業の集中・進化



3.経営数値目標

【2018年度経営目標】

連結営業利益

1,000億円

海外売上高比率

35%

(将来目標50%)

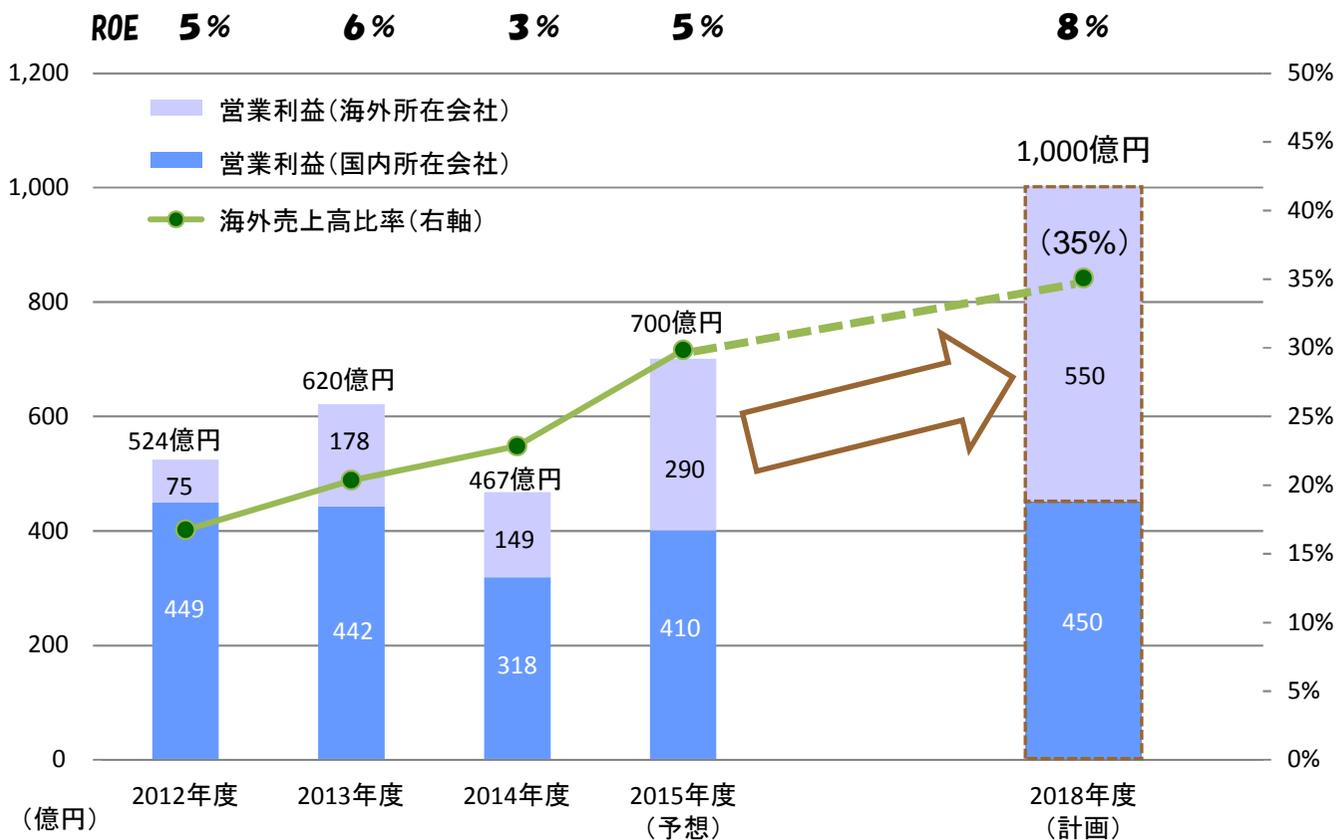
有利子負債残高

7,000億円

(2016年度末7,500億円)

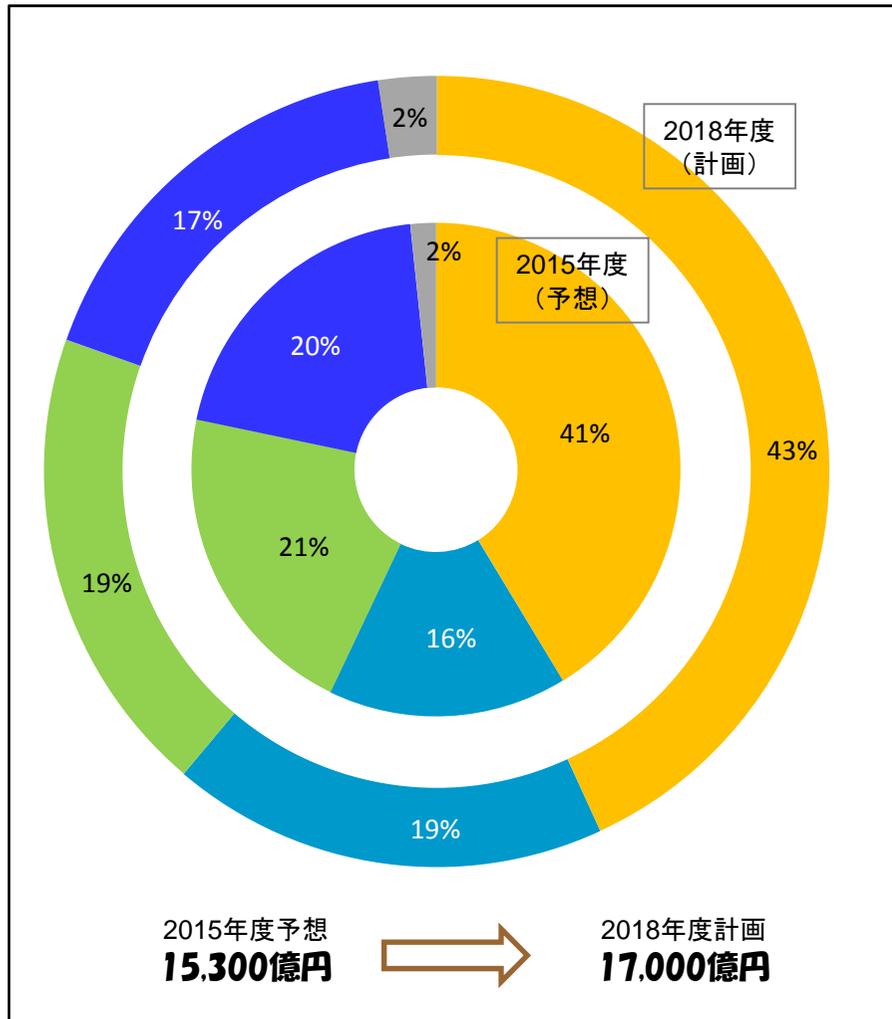
ROE

8%

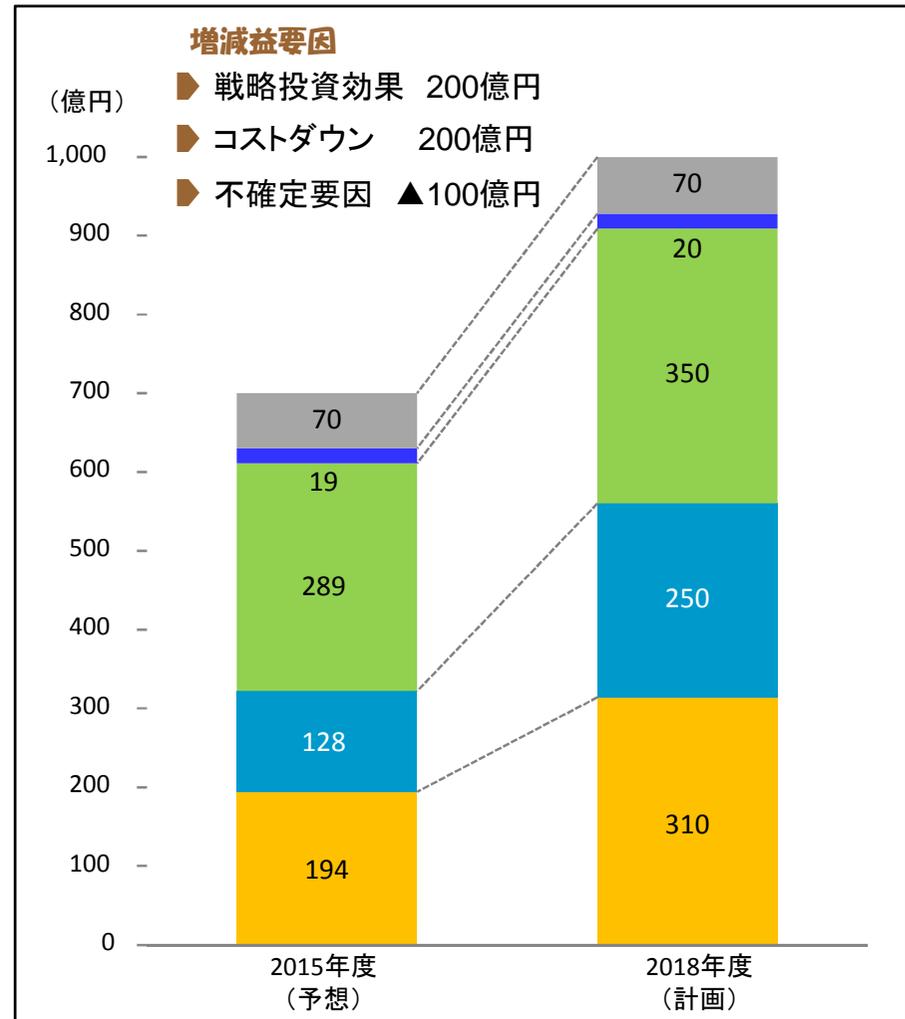


■生活産業資材 ■機能材 ■資源環境 ■印刷情報 ■その他

セグメント別売上高（2015年度対2018年度）

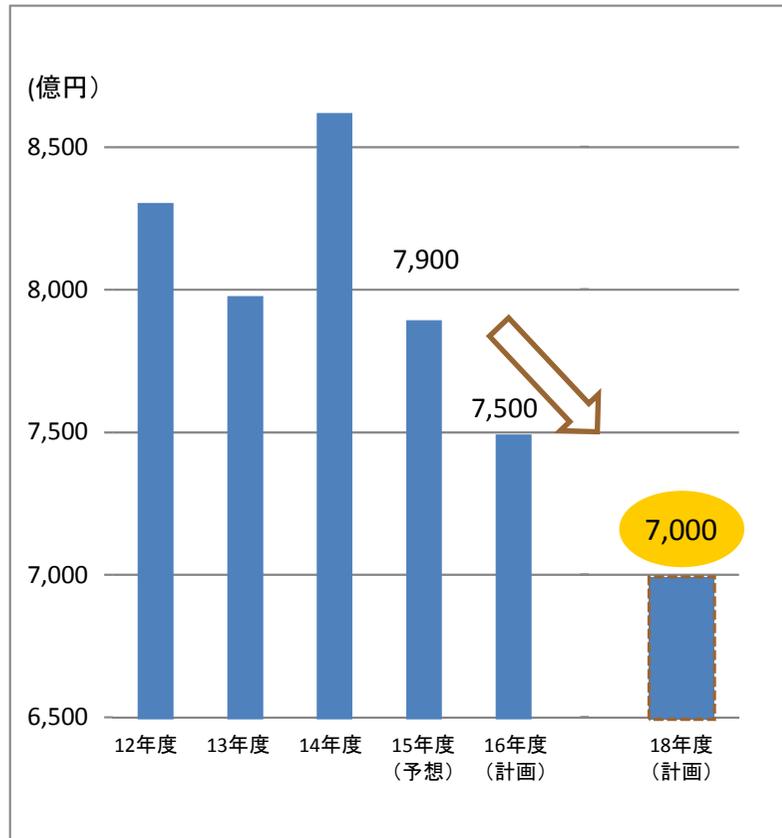


セグメント別営業利益（2015年度対2018年度）

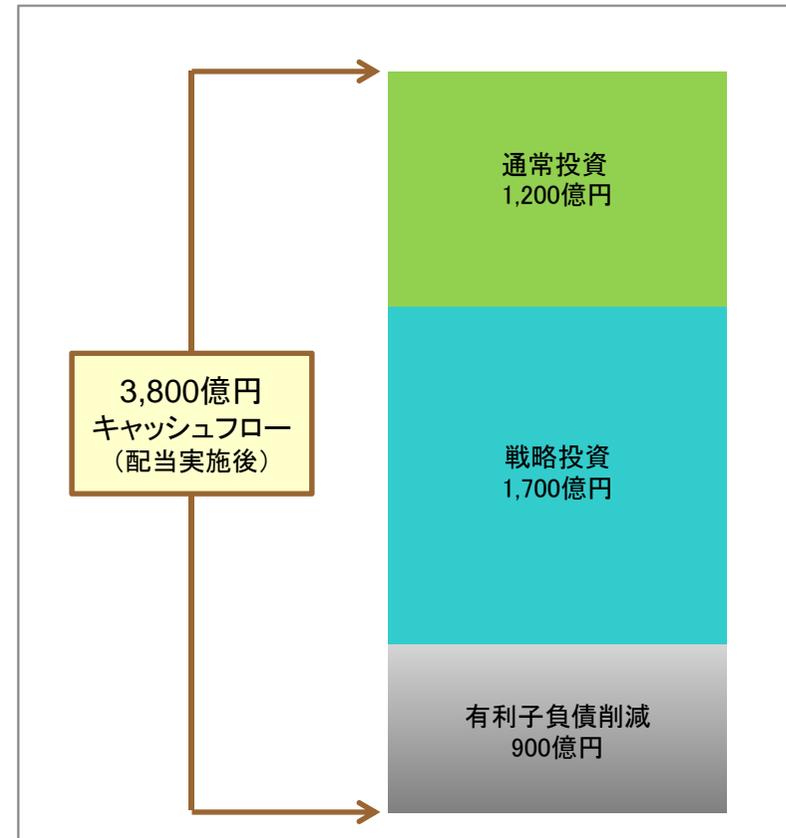




有利子負債残高推移



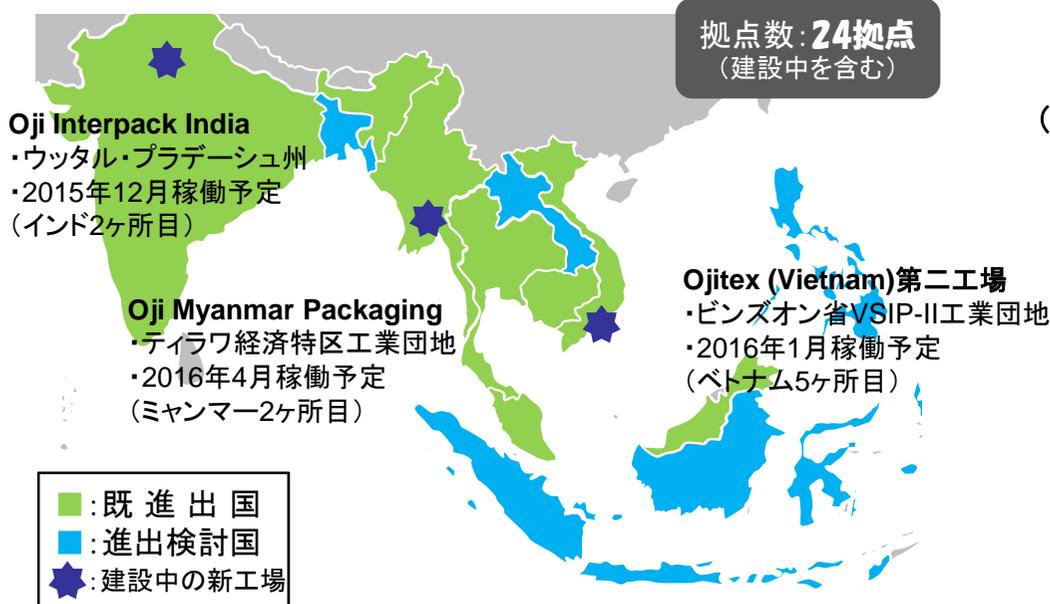
2016-2018年度資金計画





IV.事業別経営戦略

《東南アジア・インド地域における事業拡大》



(既存事業の基盤強化)

- ▶ 工場拡張・設備新設・更新によるシェア拡大・品質の更なる向上による顧客満足度UP

(製造・販売ネットワークの拡充)

- ▶ 未進出国への事業展開 (フィリピン、インドネシア等)
- ▶ 既進出国における拠点拡大 (マレーシア、インド、ミャンマー等)



Ojitex (Vietnam)第二工場 (完成予想図)

《オセアニア地域》 Oji Fibre Solutions ※10/31付でCHPPPより社名変更

拠点数: 10拠点
(NZ:7、豪州:3)

- (段ボール事業の拡大)
- ▶ オーストラリアで拠点増設を検討



Oji Fibre Solutions Auckland工場

⇒ 地域全体で王子グループの総合力を発揮し、トータルパッケージング事業を推進・拡大

《素材・加工一体型ビジネスを更に推進》

ワンストップショッピングを提案・実践するギャラリーを開設



王子銀座ワンストップギャラリー

(2015年10月13日オープン)

包装関連商品を中心に王子グループの製品を一堂に展示



王子銀座ワンストップギャラリー(王子HD1号館1F)

《既存事業の基盤強化による収益の拡大》

(段ボール事業)

- ▶ 段ボール加工M&Aによる事業拡大
- ▶ 生産性・競争力強化施策



コスト競争力の高い段ボール新工場建設 (拠点再編)

(板紙事業)

- ▶ 高級白板紙事業提携効果発現
(2015年7月O&Cアイボリーボード設立)

(紙器・製袋事業)

- ▶ 生産体制再構築
- ▶ 重袋事業提携効果発現
(O&CペーパーバッグHDの早期設立)

⇒ No.1総合パッケージメーカーへ

《海外紙おむつ事業》

東南アジア事業の拡大

(マレーシア)

- ▶ People & Grit社
株式取得(2015年1月)
- ▶ Oji Asia Household Product社(設立新会社)
新工場建設中(2016年初稼働予定)



アジア事業展開の中心として周辺国への輸出拡大
子供用だけでなく、大人用やナプキン市場への参入も検討

(インドネシア)

- ▶ 製造・販売それぞれの合弁会社を設立



インドネシア市場を中心に展開していく

国産品の輸出販売拡大

- ▶ 日本品への需要が旺盛な**中国向け輸出強化**
- ▶ 輸出向け子供用テープ型紙おむつマシン新設
(2016年3月稼働予定)



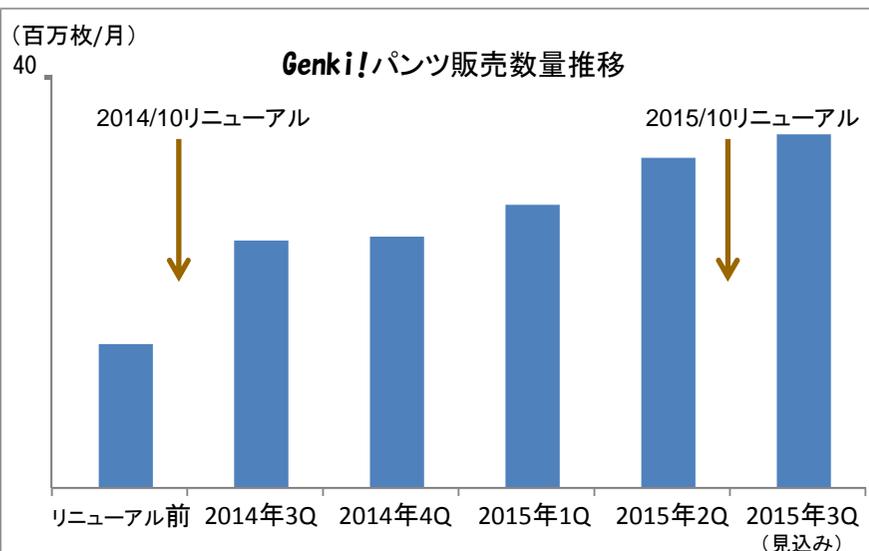
マレーシアのPeople & Grit社

《国内紙おむつ事業》

- ▶ パーソナルケア・イノベーションセンターを中心に、新商品の開発・商品品質の向上とマーケティングを強化
- ▶ 子供用 nepia Genki! パンツの継続的な機能改善・ブランド育成
- ▶ 大人用紙おむつ 市場成長性の高い分野で新商品を開発

子供用紙おむつ nepia Genki! パンツ

2014年10月のリニューアルでは、おなか周りの通気性向上
アンパンマンを活用した店頭展開や推奨販売により販売好調



(15年10月リニューアル)

市場トップクラスの
やわらかさ!

- ▶ おなか周りや腰周り、脚周りに、新開発の不織布を採用
- ▶ FSC®認証紙を採用 王子ネピアライセンスコード (FSC®C018118)

「大切な赤ちゃんにやわらかい紙おむつを使いたい」という声に応え
品質優位性の強化によるさらなる拡販を目指す



アンパンマンを活用した店頭展開の様子



©やなせ・F・T・N

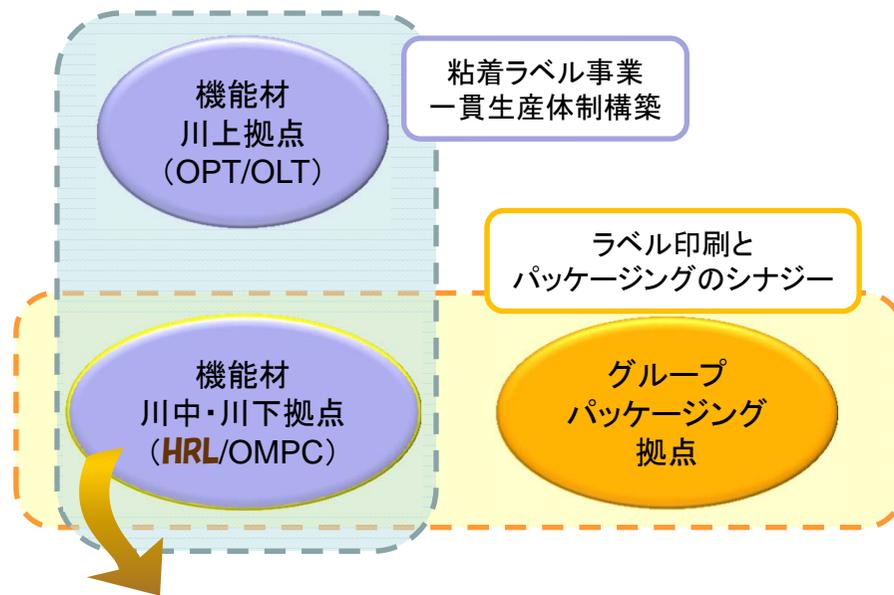
3.機能材事業 ①海外機能材事業

《海外機能材事業》

- ▶ 東南アジアにおける川中・川下事業の拡大
- ▶ 日本から東南アジアへの機能材製品の輸出拡大

グループ初となる東南アジア機能材事業(粘着ラベル事業)の川中・川下拠点を獲得予定

Hyper-Region Labels社(マレーシア ラベル印刷・加工)株式の60%を取得する株式譲渡契約締結



今後も、さらに積極的なM&Aで加工事業を拡大



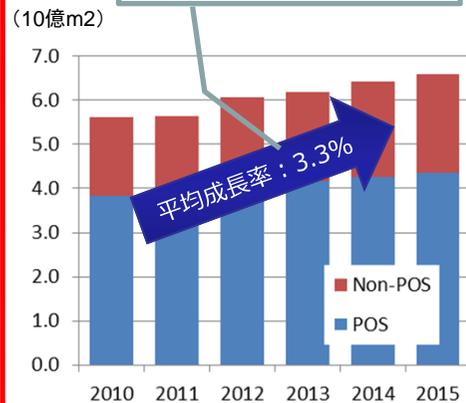


◀海外感熱事業▶ ▶ 欧州・南米における能力増強

欧州 : KANZAN (ドイツ)

第1期 : PM6 感熱下塗ブレード塗工他 (2013年完了)

KANZANが得意とするNon-POS
グレードが市場成長を牽引
(Non-POS 平均成長率:4.7%)



欧州感熱紙市場推移
2015年は当社予測

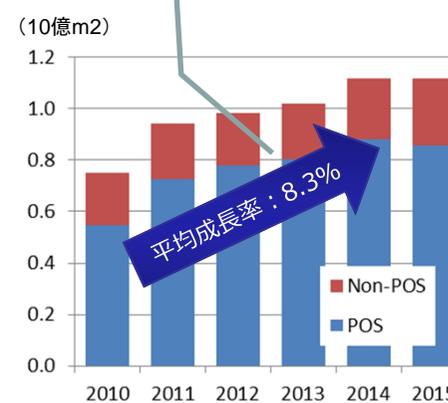
Kanzan Spezialpapiere
(KANZAN)



南米 : OPE (ブラジル)

第1期 : PC2, PC3 ドライヤー増設他 (2014年完了)

POSシステム拡充、物流システム整備
によるラベル需要等



ブラジル感熱紙市場推移
2015年は当社予測

Oji Papéis Especiais
(OPE)



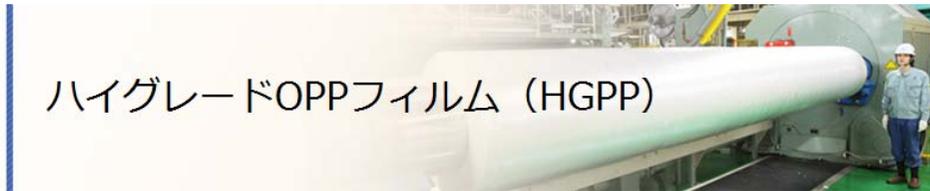
需要増に対応した事業拡大を今後も検討

《国内事業》 ▶ 高機能・高付加価値製品の継続的開発

高機能フィルムの開発 王子エフテックス

〔アドバンスフィルム研究所〕

ハイグレードOPPフィルム (HGPP)



新型フィルムマシンとアドバンスフィルム研究所を活用したハイグレードフィルム開発のさらなる加速

〔アルファン ハイグレードタイプ〕

〔アルファン 電気用フィルム〕



特殊工業用最先端の技術を支えるため、異物を徹底的に排除した高機能フィルム
厚みや剥離力でも数々のバリエーションを持つ



ハイブリッド自動車等の需要伸長が著しいハイテクノロジー分野で求められる高い絶縁強度や優れた表面性を持つ

新2色感熱メディア 王子イメージングメディア

独自の感熱染料による、これまでには無い
金・赤、黄・黒などの鮮やかな色調の2色感熱

金色・赤色を好む中華圏への販売促進
蛍光発色特性を活かした新用途の開拓
(サインディスプレイ用途など)



金赤発色



金黒発色



東京ギフト・ショーでの採用事例
(アプリダウンロードCMシール)



専用プリンタとPCを
USB接続することで
簡単にシール作成可能



暗所での蛍光特性の活用例



《パルプ事業》

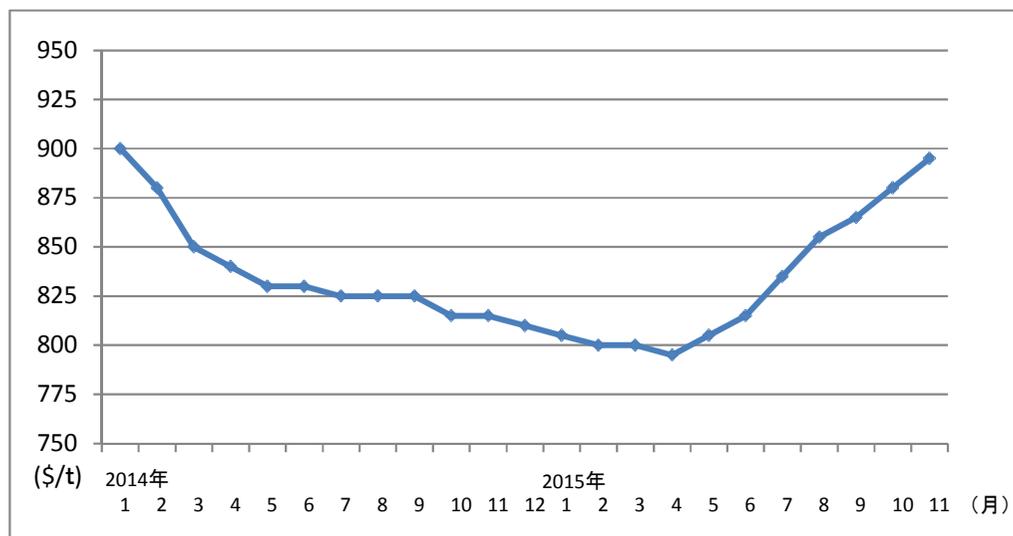
- ▶ 豊富な品揃え・グループ販売チャンネルを活用し、アジア他需要拡大地区での販売を強化
- ▶ 収益対策投資・新製品開発を進め、競争力を強化

	国内グループ各社	Cenibra (ブラジル)	Pan Pac (ニュージーランド)	Oji Fibre Solutions※ (ニュージーランド)	江蘇王子製紙 (中国)
生産パルプ	溶解パルプ 針・広葉樹パルプ	広葉樹パルプ	BC-TMP	針葉樹パルプ セメント用パルプ	広葉樹パルプ
販売パルプ 生産能力	16万トン	120万トン	20万トン	60万トン	24万トン

※旧CHPPP 10/31付で社名変更

グループ合計: **240万トン**

レーヨン用途溶解パルプ価格推移
(中国市場価格)



《木材加工事業》

▶ **ニュージーランド製材事業 (Pan Pac)**

NZ南島にPan Pac Otago社設立
2015年4月営業運転開始



南島の木材資源を活用し、さらなる拡張を検討



Pan Pac Otago 製材工場

▶ **インドネシア木材加工事業 (KTH)**

チップ、製材、ペレット事業等

植林資源を背景とした、多様な事業展開

▶ **ベトナム合板事業**

2015年4月ユーカリ合板工場営業運転開始

▶ **ミャンマーゴム製材事業**

輸出向けゴム製材事業に参入

⇒ **アジア・オセアニア地区において
木材事業を拡大・強化**

《エネルギー事業》

▶ 発電事業の拡大

バイオマス発電所
本格稼働

稼働済

王子マテリア富土工場
王子グリーンエナジー日南

試運転中

王子グリーンエナジー江別
(16年1月営業運転予定)

水力発電所
リフレッシュ工事

完了済

尻別川水力発電所(2ヶ所)

進行中

北海道、静岡県の10ヶ所

2015年度
売電量見込

8億kWh/年

(160億円)



進行中案件完了後
売電可能量

10億kWh/年

(210億円)

▶ 電力販売事業の拡大

OJEX

会社名 王子・伊藤忠エネクス電力販売

設立 2015年2月 王子出資比率: 40%

販売目標(2019年度) **30億kWh/年(600億円)**



王子グリーンエナジー日南

《バイオマス燃料事業》

▶ 燃料用チップ生産設備 増強

国産材未利用資源を有効活用

設備能力増強

宮城県日向市
(2015年3月稼働)

チップ製造設備新設

北海道安平、青森県下北
(2015年11月稼働)



下北のチップヤード

▶ PKS調達拡大 ※PKS: Palm Kernel Shell パーム椰子殻

インドネシア PKS集荷ヤード

王子木材緑化(インドネシア販社)が
KTH敷地内に集荷ヤード新設

2015年8月 集荷開始
集荷目標 **10万トン/年**



PKS

バイオマス燃料の外販拡大

グループ内での使用量を拡大するとともに、外販事業を積極的に拡大

5. 江蘇王子製紙南通工場(中国)

《江蘇王子の事業展開》

2015年

2018年

- ▶ **KP設備の稼働**
 - 紙パルプ一貫生産開始
 - パルプ外販開始

▶ 操業安定確立

営業利益黒字化

- ▶ **紙事業+外販パルプ事業**

▶ 紙・販売パルプの拡販

- ▶ **新規ビジネス**

充実したインフラを活用し
幅広い分野への展開を検討

新規ビジネスの検討

生産能力

紙製品 **40万トン/年**

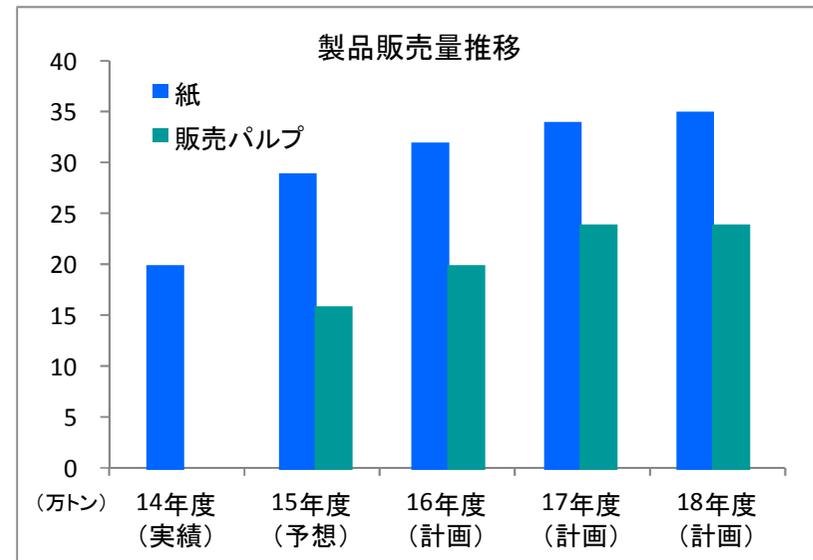
販売パルプ **24万トン/年**

所有インフラ

ボイラー、バース他



KP設備



セルロースナノファイバー (CNF)

- ・最も実用化に有望と考えられるリン酸エステル化法の製造技術を確認した（特許出願済み）
- ・同手法に基づき、ウェットパウダー化技術を開発し、世界で初めてサンプル供給を開始した（2015年9月）
※本技術により、従来のCNFゲルに比べ輸送費を1/10以下にすることが可能となった（ウェットパウダーのゲル化も容易）
また、ゲルと比べ流動性が高いため、ハンドリング性が向上し、用途拡大が期待できる
- ・超極細セルロースナノファイバーによる透明連続シートの製造技術を確認し、サンプル供給を進めている
- ・複合素材の開発を通じて、新たな可能性の探求を進めていく
「透明性、成形性、高強度軽量化」を生かし、透明樹脂複合材の実現を進める
- ・リン酸エステル化CNFの実証プラントを王子製紙(株)富岡工場へ導入予定（2016下期から稼働予定）



流動性の高いウェットパウダー状CNF



生物処理設備の導入や生物膜処理設備部材(担体)の適用

工程に導入された膜処理設備

水処理事業

- ▶ 事業推進のための運営体制強化を実施中

〈想定分野〉

上下水、各種工場排水
食品加工廃水、畜産廃液

〈想定展開先〉

日本国内および
東南アジア、ブラジル
オーストラリア、北米等の海外



2020年度 環境行動目標

◎環境負荷ゼロに向け、限りなく挑戦

1. ゼロ・エミッション目標

☆環境事故ゼロ ☆製造物責任事故ゼロ

☆廃棄物の有効利用の推進

- ・国内 有効利用率99%以上
- ・海外 有効利用率95%以上

☆生態系に配慮した排水・排気の管理

- ・排水:水生生物を利用し、生態系に配慮した排水管理
- ・排気:SO_x,NO_x等に加え、水銀も対象とした排気管理

☆温室効果ガスの削減

- ・排出原単位 2013年度対比10%以上削減(国内・海外)

2. 森・紙のリサイクル

- ・自社植林地における森林認証取得率100%
- ・さらなる古紙利用の拡大

◎責任ある原材料調達

- ・木材原料、パルプ～第三者機関の監査も利用
- ・原材料、薬品～業界の自主基準にも適切に対応

◎持続可能な森林経営

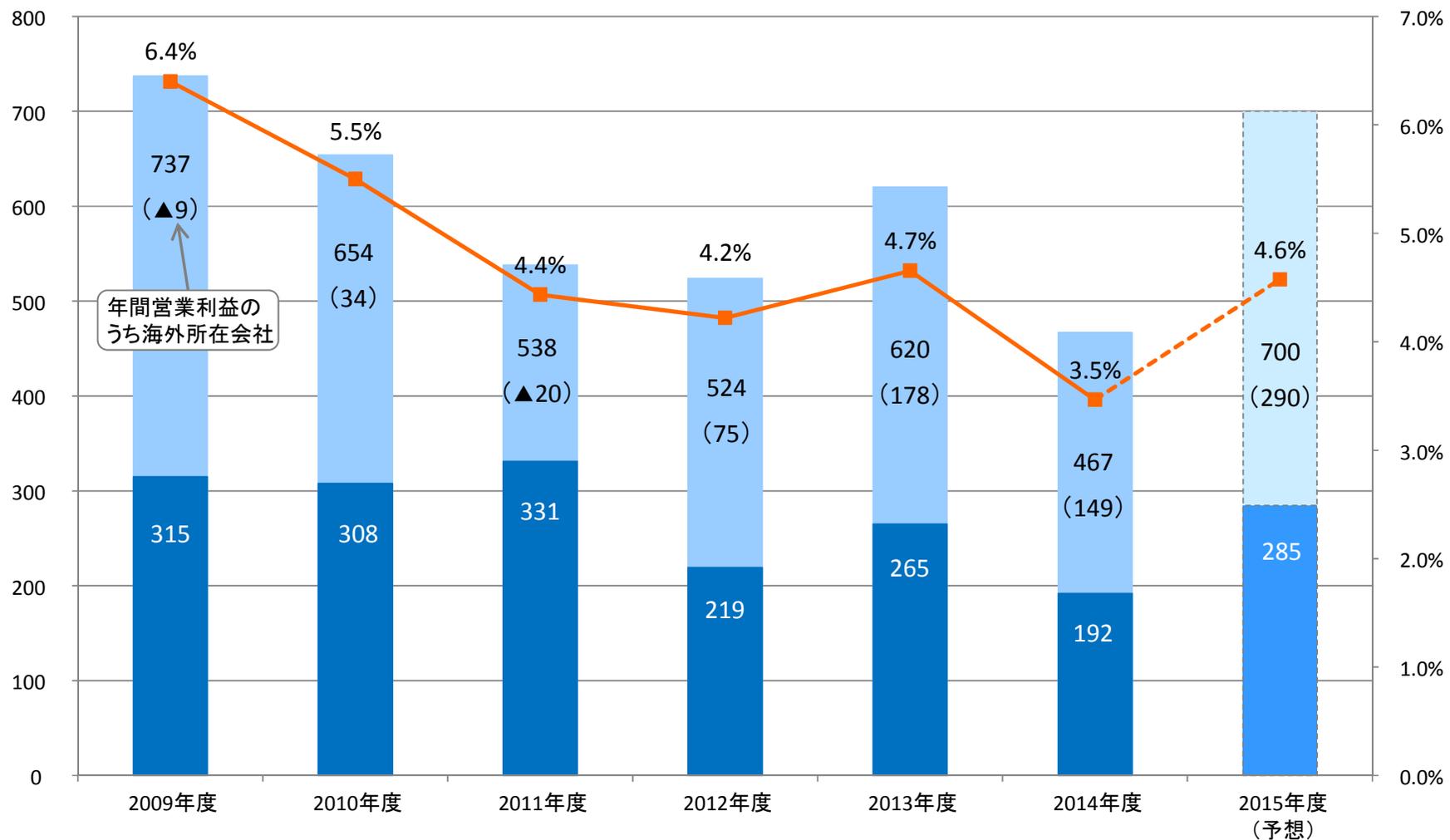
- ・森林認証制度を活用～生物多様性等の多面的機能を保全
- ・木材事業の積極的推進～国内林業復活と森林再生に貢献
- ・森林認証製品の拡充



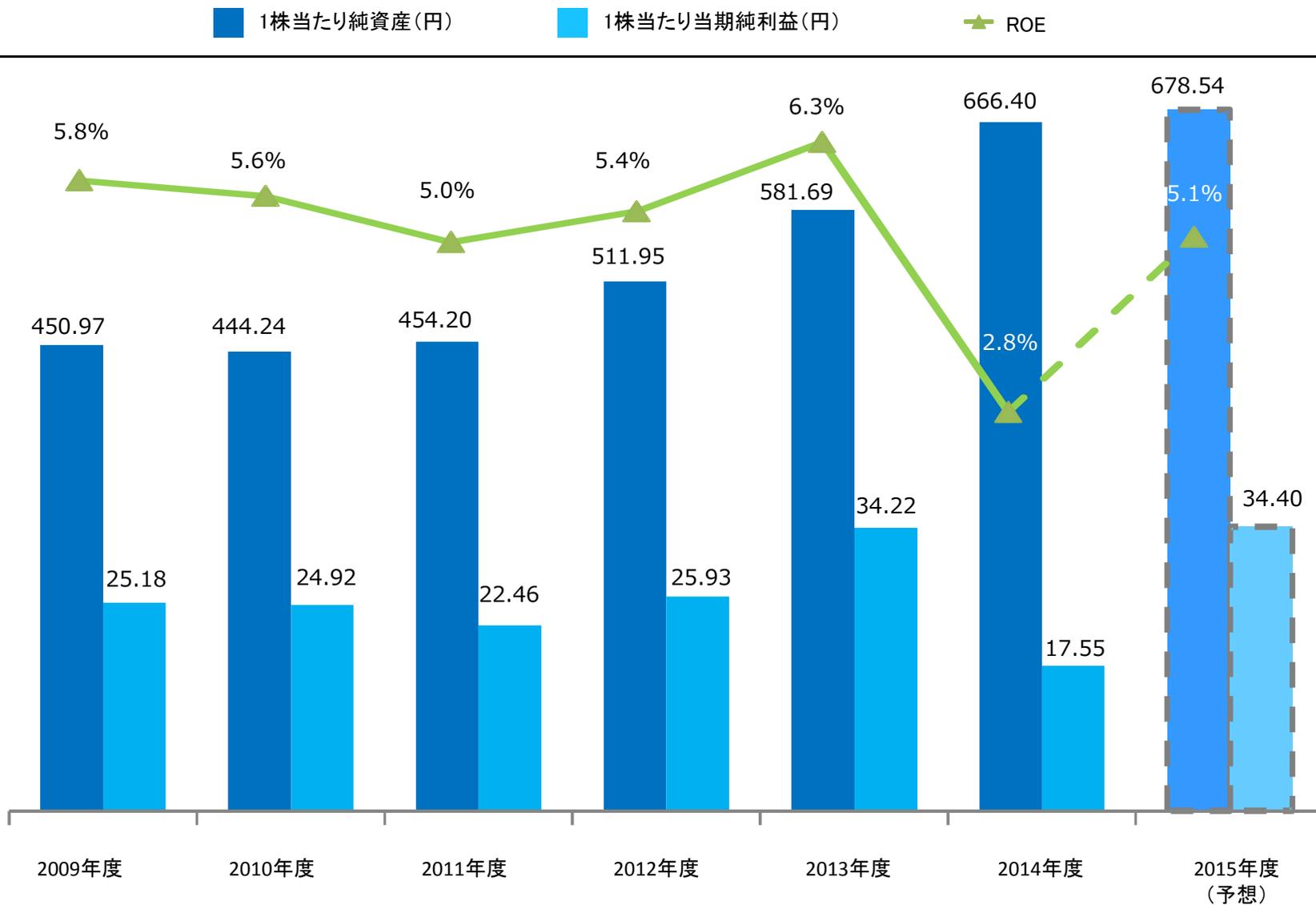
《参考資料》

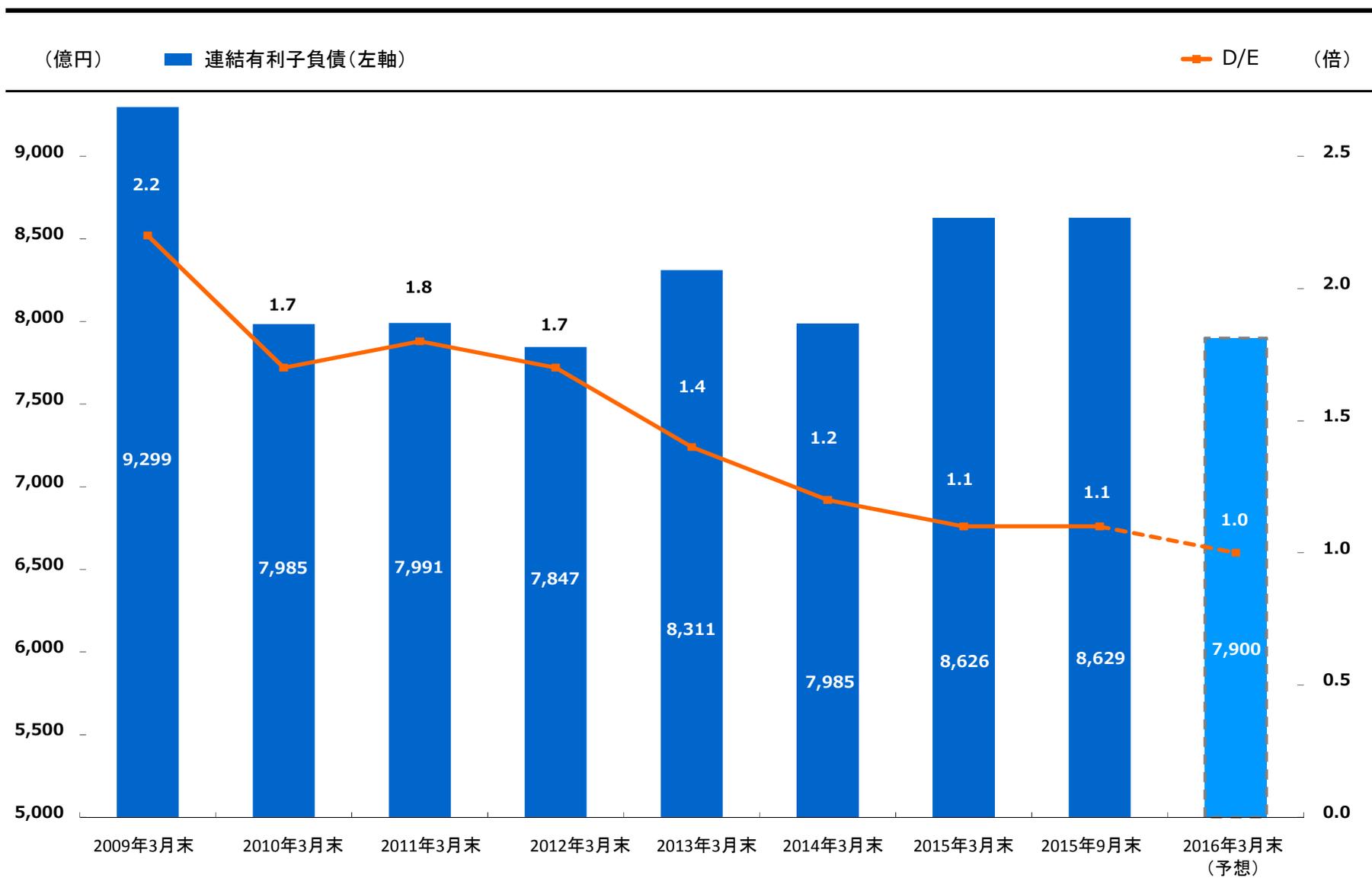


(億円) 営業利益 2Q累計営業利益 ※内数 売上高営業利益率(右軸) (%)



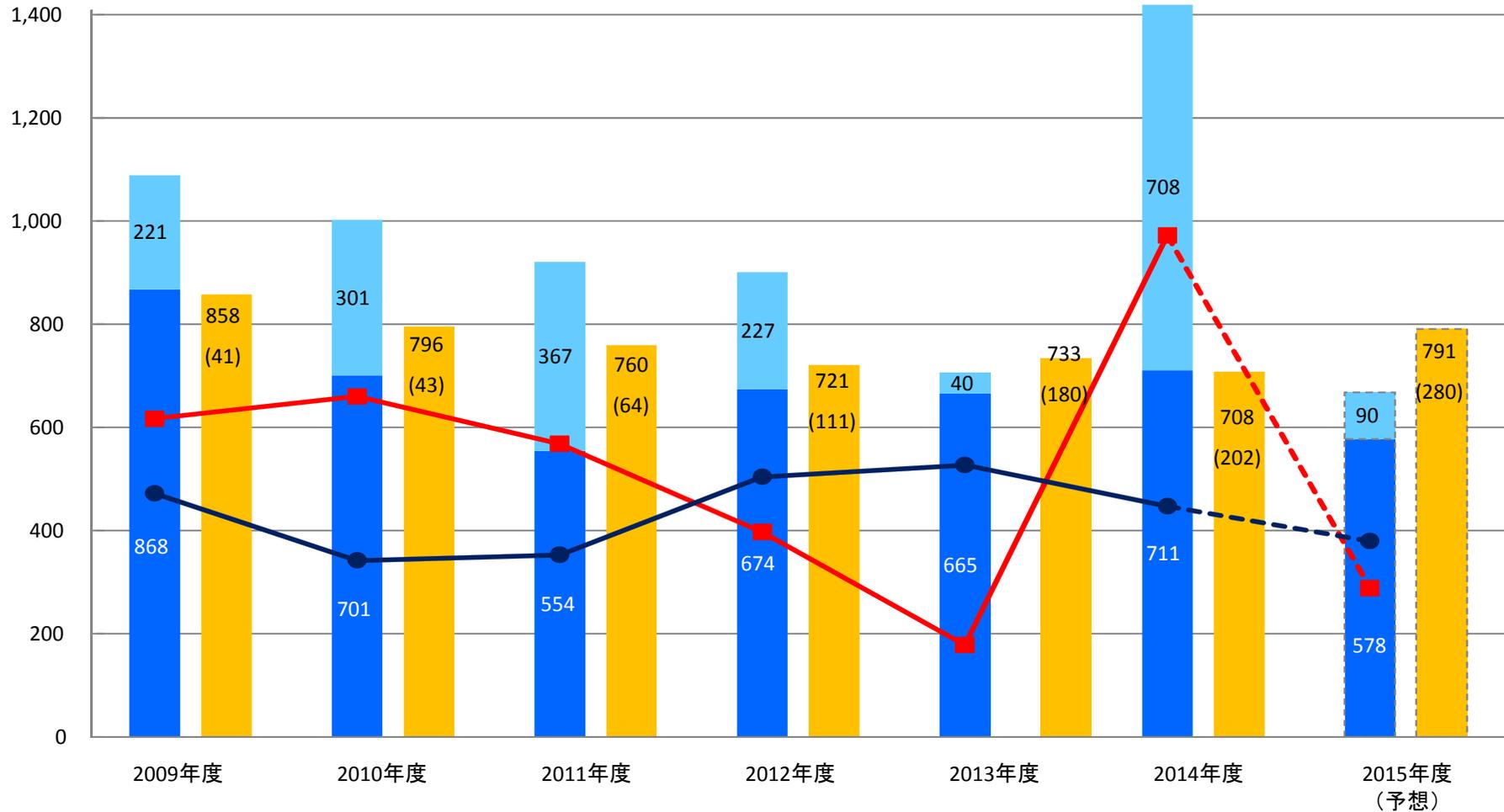
自己資本利益率(ROE)推移

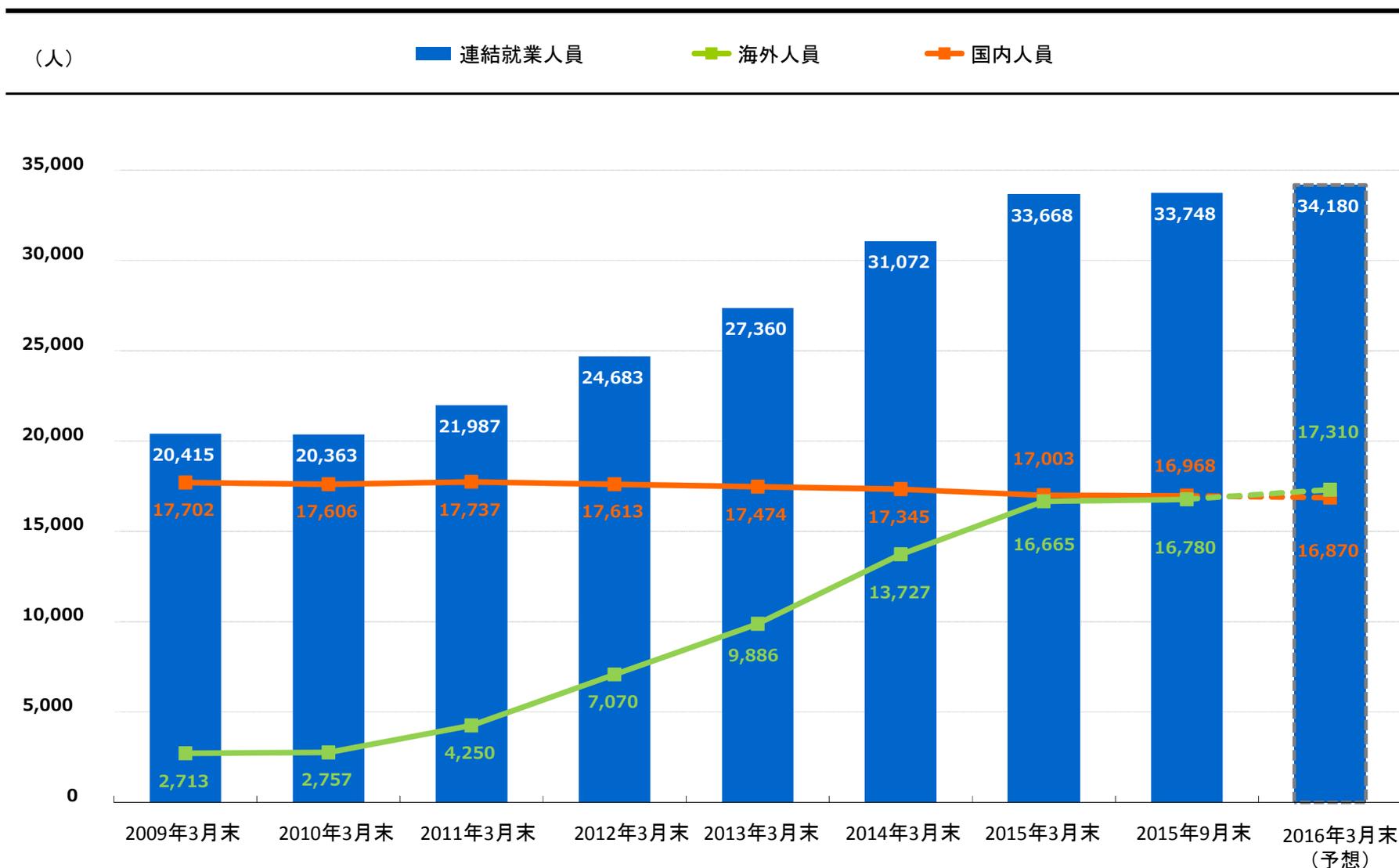






(億円) 減価償却費(うち海外) 設備投資 投融资 海外設備投融资 国内設備投融资





※臨時従業員を除く



	国内出荷高		輸入紙(通関) ※1		合計 (単位:千t)	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
段ボール原紙	4,411	101.9%	27	64.6%	4,438	101.5%
紙器用板紙	752	97.3%	128	101.9%	880	97.9%
その他の板紙	312	96.0%	15	108.6%	327	96.5%
板紙計	5,475	100.9%	170	93.7%	5,645	100.7%
衛生用紙	850	102.1%	90	96.9% ※2	940	101.5%
包装用紙	354	94.1%	4	88.4%	358	94.0%
新聞用紙	1,479	96.3%	24	91.9%	1,503	96.3%
印刷・情報用紙	3,714	98.4%	598	90.7%	4,312	97.2%
雑種紙他	358	97.4%	9	86.5%	368	97.1%
紙計	6,755	98.1%	725	91.4%	7,480	97.4%
板紙・紙計	12,230	99.3%	895	91.8%	13,125	98.8%
						(単位:百万m2)
段ボール ※3	6,913	102.4%			6,913	102.4%

出典:「日本製紙連合会紙・板紙需給統計」、「財務省貿易統計」、「全国段ボール工業組合連合会段ボール生産量」

※ 1: 輸入紙(通関)の実績は2015年4月～2015年9月(速報)の実績

※ 2: 衛生用紙の輸入紙(通関)に二次製品(加工品)を含む

※ 3: 段ボールの数量は生産量(貼合されたシートの総量)



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
また、本資料に掲載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに準拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。
本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。